

令和6年度
地域包括支援センター実績報告書
(案)

狛江市

1. 第1号介護予防支援事業

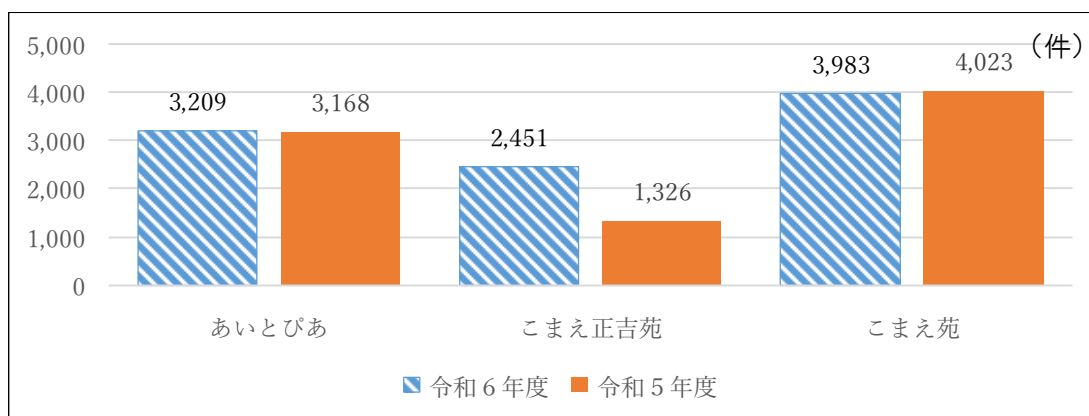
■事業内容

基本チェックリスト該当者に対して、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等が包括的・効率的に実施されるよう必要な支援を行う。

なお、本事業と指定介護予防支援は別の制度に基づくものであるが、共通の考え方に基づき一体的に実施するものである。

■令和6年度の実績

① 第1号介護予防支援・指定介護予防支援件数（年間延件数）



2. 総合相談支援

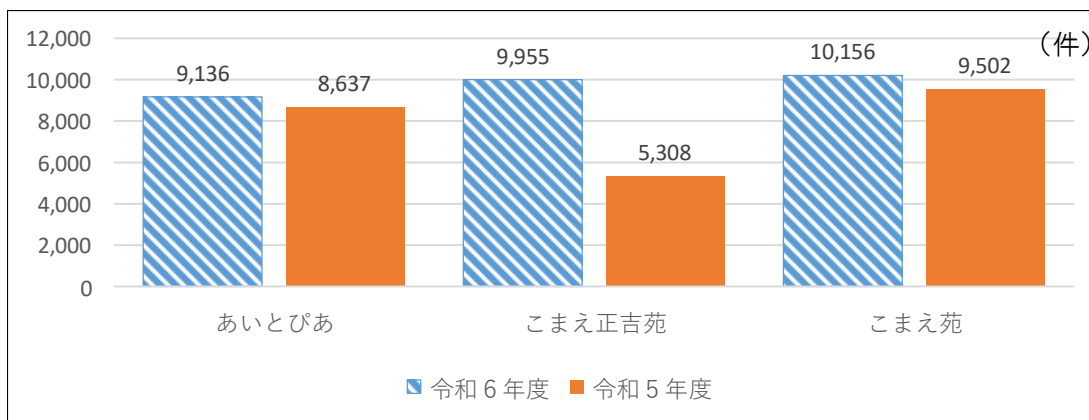
■事業内容

地域に住む高齢者のさまざまな相談に対し、ワンストップで対応するとともに、地域包括ケアシステムにおける継続支援の入口として、適切な機関、制度、サービスにつなぐ。相談受付の際には、緊急レベル別にスクリーニングを行い、状況に応じた適切な対応を行う。

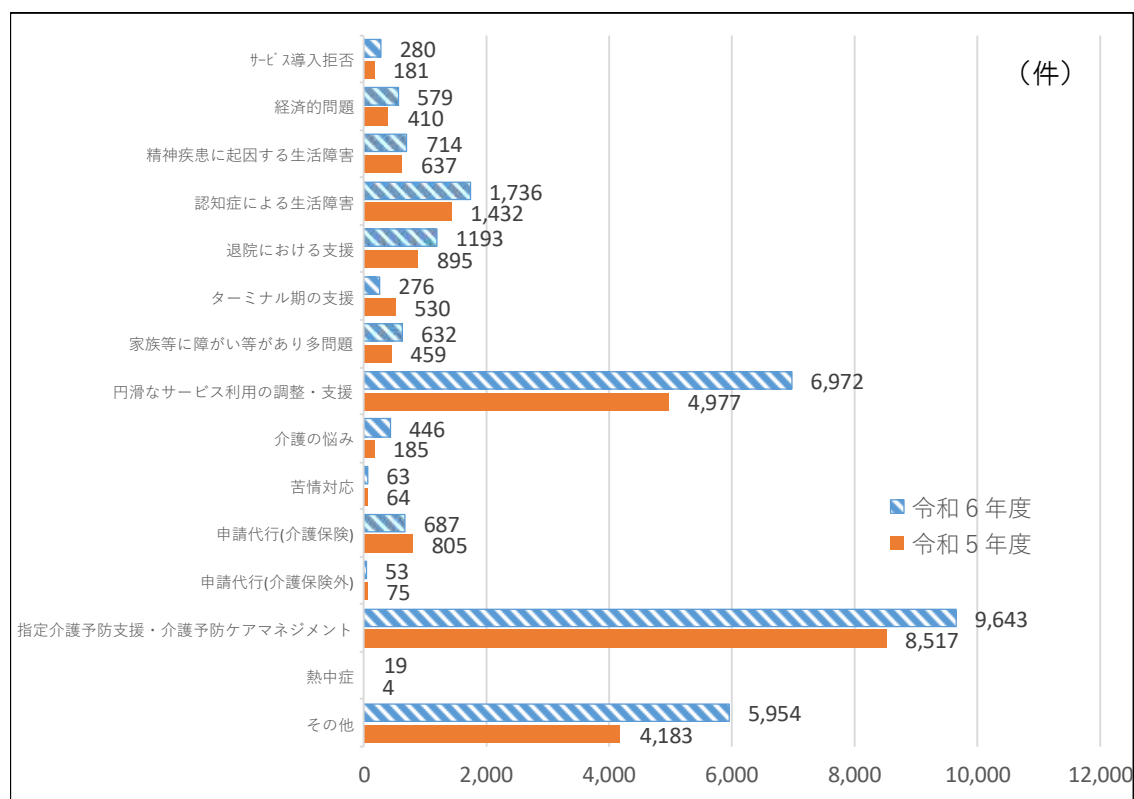
複合的な課題へ円滑に対応するために配置された精神保健福祉士も含め多職種で協力して支援していく。

■令和6年度の実績

① 相談件数（年間延件数）



② 相談内容の内訳（年間延件数）



③ 具体的な相談事例（抜粋）

- ・発達障害の子どもたちと生活していた認知症高齢者の入院及び今後の居所選定の支援（8050 家庭）。
- ・金銭への固執が強固な家族からお金を搾取されそうな高齢者への支援。
- ・家族関係が不仲な高齢者の退院支援。
- ・認知症重度の方及び身体的な状態が悪化した配偶者の二人暮らしの方への支援。物忘れが重度になり、何度も来所するが、結果的には、サービスにつながらなかったケース。今後は総合相談で対応。
- ・他者にお金を借りては踏み倒す高齢者への対応についての相談（地域のマンション管理人にもお金を借りていたが音信不通になっている）。
- ・親子関係が複雑な家庭への対応。高齢者虐待ケースへと移行。
- ・84 歳男性。要介護 5 の妻、長男と 3 人暮らし。認知症があり金融機関でのトラブルや高速道路の逆走、自宅周辺での迷惑行為等あり。大家から立ち退きを求められている。経済困窮あり。生活保護の申請と本人の入院を支援。
- ・親族が遠方の独居で認知症高齢者が末期がんを患いながらも、入院検査を拒否していたのを、かかりつけ医への再受診から介護保険申請、サービス導入、入院、看取りへと繋げた。
- ・独居で家族のいない 70 代女性。認知症が進行し、不安の訴えが頻回で家にいられない。こまほっとと連携し、本人の金銭管理、見守り、入院、猫の引き取りまでをバックアップした。
- ・認知症があり住環境と整容に課題のある 70 代女性。医療にも介護サービスにもつながっていなかったが、地域住民を通じてチームオレンジに参加をすることをきっかけに地域包括支援センターに同居家族が相談でき、認知症診断、介護保険申請、ヘルパー利用までつなげた。

3. 権利擁護事業

■事業内容

(1) 高齢者虐待の防止及び対応

高齢者虐待の予防に向けて、正しい知識、理解の普及啓発及び高齢者虐待相談窓口の周知に努める。また、市主催の権利擁護に係る講演会の開催支援、民生委員・児童委員、介護支援専門員等の関係者向けの研修会を開催する。

高齢者虐待の対応として、相談・通報を受けた場合には、関係機関との密な連携のもとで適切に対応する。

(2) セルフネグレクトの防止及び対応

「セルフネグレクト」状態にある高齢者は、関与を拒否することも多く、支援には困難が伴うことが多いが、地域ケア会議や既存のネットワーク等を有効活用し、その防止・対応に努める。

(3) 消費者被害の防止及び対応

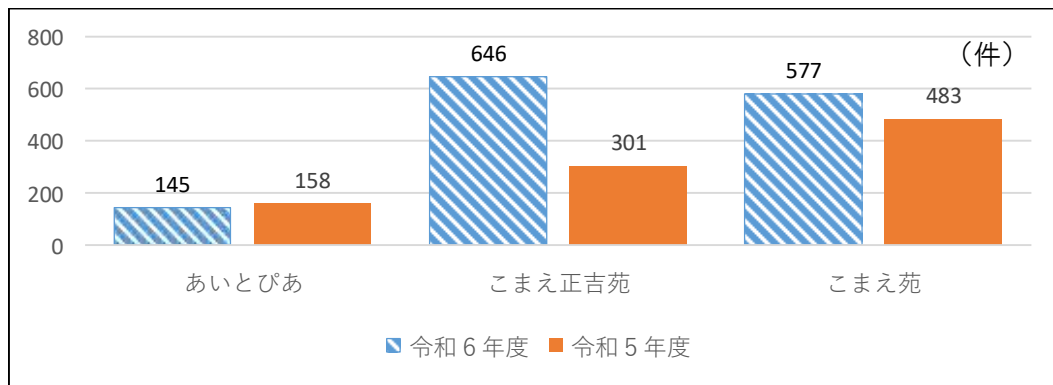
関係機関との連携体制を構築し、その活用により消費者被害情報の把握を行い、被害を未然に防ぐための適切な対応を図るとともに、被害回復のための情報提供を行う。

(4) 判断能力を欠く常況にある者の支援（権利擁護業務）

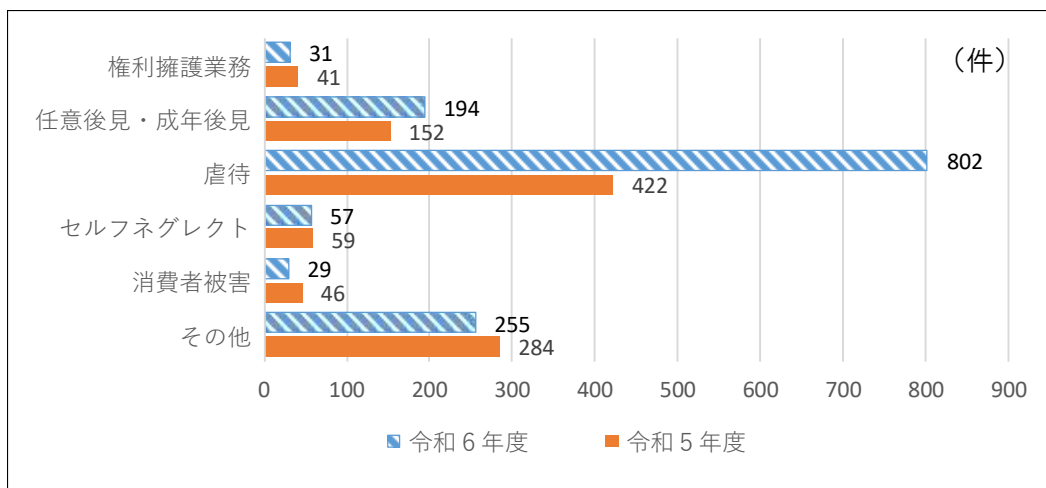
判断能力を欠く常況にある者に対し、権利侵害の予防及び対応として、成年後見制度及び日常生活自立支援事業を活用し、能力に応じた適切な支援を行う。

■令和6年度の実績

① 対応件数（年間延件数）



② 対応内容の内訳（年間延件数）



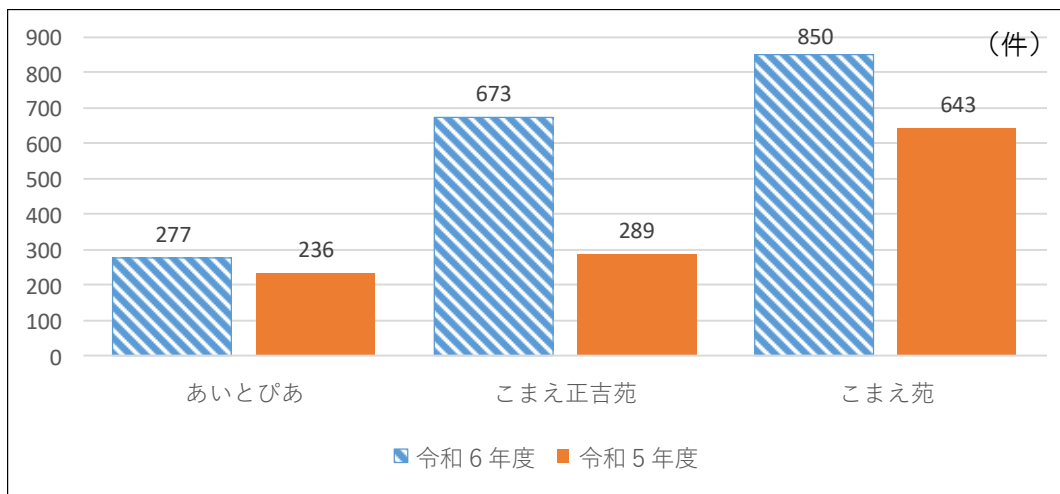
4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

■事業内容

地域の介護支援専門員が抱える困難事例について、要請に応じ、具体的な支援方針を検討し、指導助言、同行訪問等の個別支援を行うとともに、事例検討会等を開催し、全体のスキルアップを図る。

■令和6年度の実績

① 介護支援専門員への支援件数（年間延件数）



② 地域包括支援センター職員及び介護支援専門員向け研修

実施日	タイトル	参加人数
5/22～ 5/29	講義「ヤングケアラー・若者ケアラー支援の現状と問題解決に向けて」 ※動画配信【こまえ苑】	59
6/17	事例検討会「延命治療を中止したいと家族が希望するケース～倫理面を ケアマネとしてどうとらえるのか～」【こまえ苑】	37
7/19	講義「市内の多職種連携をさらに深めるために～かかりつけ薬局と の連携について～」【あいとぴあ】	52
9/24	事例検討会「親類が遠方にいる認知症高齢者の日常生活の支援につ いて」【あいとぴあ】	35
11/25～ 12/4	講義「ヤングケアラー・若者ケアラー支援の現状と問題解決に向けて part 2」※動画配信【こまえ苑】	47
1/29	講義「8050問題を抱える50代家族とのコミュニケーションについて」 【あいとぴあ】	36

5. 認知症支援事業

■事業内容

地域で認知症支援の取組みを進める人材として、各センターに配置された認知症地域支援推進員を中心に、本人や家族に対する支援を充実させるとともに、認知症の正しい理解を広めることにより、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進める。

具体的には、医療・介護職が連携して認知症の高齢者等を適切な支援体制へと繋げる「認知症初期集中支援チーム」や、認知症に習熟した医師がもの忘れの相談に応じる「もの忘れ相談会」、認知症の人を介護する家族が当事者や専門職と交流する「家族介護者の会」、認知症の人の地域の居場所となる「認知症カフェ」等により、認知症支援の推進を図るものである。

■令和6年度の実績

① 認知症初期集中支援チーム

昨年度に引き続き、地域包括支援センターが抱える認知症の困難ケースについて、チーム員を含む医療・介護の専門職が随時オンラインで相談できる機会を設けた。新規ケース支援は0件であった。

② 認知症カフェ開催

名称	運営主体	場所	頻度	参加延人数
KOMACAFE+	あいとぴあ	Dayplus こまえのいずみ	年6回	63
さくらカフェ	こまえ正吉苑	こまえ正吉苑二番館	月1回	255
せせらぎカフェ	こまえ苑	狛江共生の家 ふらっとなんぶ	月1回	50
令和6年度合計				368
【参考】令和5年度合計				531

※ 参加延人数に運営関係者は含まない。

※「KOMACAFE+」は令和6年12月まで開催。令和7年4月に開催場所を変更し「こまカフェ」としてリニューアルオープンするため。

③ 家族介護者の会

	あいとぴあ	こまえ正吉苑	こまえ苑	市	合計
開催場所	杉の子 (個人宅)	こまえ正吉苑	ふらっとなんぶ 共生の家	市役所	
開催回数(回)	12	12	11	12	47
参加延人数	58	53	31	25	167
【参考】令和5年度開催回数					48
【参考】令和5年度参加延人数					232

※ 参加延人数に運営関係者は含まない。

④ 認知症サポーター養成講座開催の実績及び受講人数

あいとぴあ		こまえ正吉苑		こまえ苑	
対象	人数	対象	人数	対象	人数
認定ヘルパー研修受講者	17	市内在住・在学・在勤者	8	市内在住・在学・在勤者	24
市内在住・在学・在勤者	12	市役所新任職員	23	シルバー人材センター	22
みずほ銀行職員	9	狛江第一中学校一年生	136		
東京慈恵会医科大学看護学科2年生	57				
令和6年度合計	95	令和6年度合計	167	令和6年度合計	46
【参考】令和5年度	61	【参考】令和5年度	216	【参考】令和5年度	10

6. 地域ケア会議推進事業

■事業内容

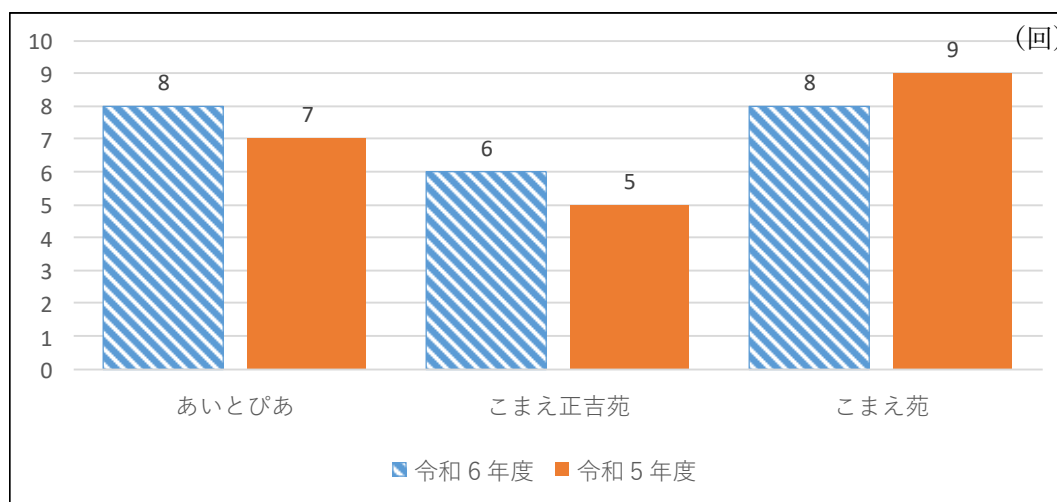
(1) 多職種連携の強化、地域ケア会議（個別ケア会議）の積極的な実施

高齢者個人の支援内容を医療・介護等の多職種間で話し合う地域ケア会議（個別ケア会議）等を開催し、個別のケアマネジメントの質の向上と医療と介護をはじめとした多職種の連携体制の強化を図り、介護支援専門員等による包括的・継続的ケアマネジメントへの支援を推進する。実施にあたっては医療職の招集にも努めている。

また、個別ケア会議から抽出した地域課題は地域課題検討会議において煮詰め、政策形成に繋げる。

■令和6年度の実績

① 個別ケア会議の開催回数



② 幹事会及び地域課題検討会議

個別ケア会議等から抽出した課題集約・整理する幹事会及び幹事会で集約・整理された課題を多職種で議論し、優先順位付けを行った上で解決策を提言する地域課題検討会議に参加した。

[幹事会メンバー]

1. 生活支援コーディネーター：1名
2. 介護支援専門員連絡会：1名
3. 地域包括支援センター：3名

[地域課題検討会議委員]

1. 生活支援コーディネーター：1名
2. 生活支援サービスを提供する事業者、団体等：3名
3. 介護支援専門員連絡会：1名
4. 地域包括支援センター：3名
5. 狛江市職員（高齢障がい課長）：1名

[会議結果]

令和6年度は幹事会を4回、地域課題検討会議を2回行い、それぞれの地域課題の内、優先順位が高いと判断された項目について、以下のとおり意見及び解決案を募った。

	課題内容	意見及び解決案
第1回	<p>(1) 認知症がある高齢者や歩行が不安な高齢者が地域の居場所事業（介護保険外サービス）に参加する際の移動手段について</p> <p>(2) 救急隊などが1人暮らし高齢者や認知症の方の自宅に駆け付けた際、本人の情報が分からない時の対応について</p>	<p>(1) 事業所への補助金の創設等、積極的に移動支援の取り組みができるような仕組みを検討する。</p> <p>(2) 緊急時に高齢者の安心・安全を確保するため、かかりつけの医療機関や持病のほか、緊急連絡先などの情報を容器に入れて保管しておく救急医療情報キットの配布又は作成支援を検討する。</p>
第2回	<p>(1) 非課税世帯や生活保護世帯が生活支援サービスを利用する際に係る助成について</p> <p>(2) 高齢者や身体が不自由な方等ごみ出しが困難な方への支援について</p>	<p>(1) 料金を軽減してサービスを提供した回数等（上限設定あり）に応じて市が事業者に対して助成をする。</p> <p>(2) エリアごとに課題を調査し、その地域やマンションの住民や管理組合が意見交換できる場を設け課題の共有を行う。</p>

7. 介護予防・フレイル予防、生活支援による地域づくり

■事業内容

地域包括支援センターに配置された「介護予防・生活支援による地域づくり推進員（以下「推進員」）」を中心として、市、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、市民活動支援センター等との密な連携のもと、住民が主体となって運営する活動への支援をはじめ、多様な手法を視野に入れつつ、地域の実情に沿った介護予防を推進する。

■令和6年度の実績

①あいとぴあ

- ・通所型サービスBの2団体の活動を支援した。どちらの団体も常時20名前後の会員が参加しており、安定して自主的な運営がされている。
- ・ウォーキンググループ「あいウォーキング」は、リーダー的な役割を担っていた高齢者運動推進員が怪我により一時活動休止となってしまったが、参加者同士での運営を促し、グループ活動自体は休まず継続することができた。

②こまえ正吉苑

- ・地域包括支援センター便りを老人会や自治会に届けることにより、地域のネットワークを広げることができている。新しくできた自治会にも民生委員との繋がりを通じて便りを届けることができた。
- ・外歩きの自主グループの継続支援において、ICTによる歩行評価のイベントを継続。
- ・地域住民交流と介護予防を兼ねたパン作り教室は、9回の実施ができた。
- ・フレイルリスクの高い方が多く居住する都営狛江団地の高齢者向けに「こまほっとカフェ」を再開し、閉じこもり防止や地域の情報を得る機会を提供している。

③こまえ苑

- ・通所Bの団体は、参加者の減少により1団体が活動を終了し2団体となった。これまで活動地域に偏りがあったため、活動がなかった地域で令和7年度4月開講に向けて新規団体の立ち上げ支援を行った。
- ・コミュニティー紙「いこいの便り」は4年目となり、介護予防、生活支援の情報源として定着している。
- ・自主グループの徒歩サークル「歩こう会」は高齢者運動推進員の活用により安定した活動となっている。
- ・園芸ボランティアサークルについては、認知症や身体機能の低下した方の参加も多く完全自主化への移行は難しい状況である。
- ・生活支援に関連した地域課題としては、ゴミ出し、買い物支援、移動支援、見守り・交流の場の促進などが挙げられており情報収集に努めた。

8. 家族介護教室

■事業内容

要介護被保険者を現に介護する者を対象に、適切な介護知識・技術、外部サービスの適切な利用方法を指導する教室を年2回実施する。

■令和6年度の実績

① 家族介護教室

センター名	実施日	テーマ	参加人数
あいとぴあ	10/12	訪問診療とリハビリについて	11
	2/17	高齢者に必要な栄養とは？	20
こまえ正吉苑	10/5	高齢者や介護が必要な人のための災害時の心構え	6
	2/4	ケアマネジャーって何をする人？	15
こまえ苑	9/24	家族ができる排泄介助と移動介助のやり方 ～実践編～	10
	2/25	こちよ眠りのためにできること～快眠講座～	9

9. 介護予防普及啓発事業

■事業内容

市民に対し介護予防の基本的な知識を普及啓発するため、介護予防の普及啓発に資する運動教室等の介護予防教室を年 36 回開催する。

① 介護予防普及啓発事業

センター名	プログラム	参加人数	令和 6 年度 合計	【参考】 令和 5 年度
あいとぴあ	宮崎先生の健康教室	100	499	500
	運動教室	223		
	ウォーキング講座	74		
	いきいき体操講座	102		
こまえ正吉苑	介護予防体操	194	471	366
	歩き方を見直そう	77		
	椅子ヨガ体操	44		
	健口体操	20		
	ゆったりヨガ体操	29		
	健康いきいき体操	52		
	認知症予防体操	55		
こまえ苑	アロマストレッチ体操	36	644	541
	コグニサイズ	35		
	マッサージ/体操	17		
	音楽療法	37		
	健口体操	31		
	口腔ケア講座/体操	18		
	笑いヨガ	21		
	体操	449		

※あいとぴあ地域包括支援センター及び地域包括支援センターこまえ苑は、年間を通じて 36 回の講座を実施した。地域包括支援センターこまえ正吉苑は、年間を通じて 35 回の講座を実施した。（予定はしていたが悪天候のため未実施が 1 回。）

※参加人数はプログラムごとの年間参加延人数となる。